

平成 25 年度 第 3 回 計測技術等調査研究委員会 議事録

日時	2014-9-2 15:00~17:00	作成	伊藤	前回	2014-5-15
場所	仏教伝道センタービル 3階『徳』の間				
出席者	出席：小西委員長、松原副委員長、村田委員、橋本委員、寺田委員、 庄司委員、小西(雅)委員、霜村委員、岡田委員、田中委員、 欠席：中元委員 (順不同、敬称略)				
報告事項	1. 第1回技術講習会の開催結果 2. 第2回学術集会の開催結果				
議 題	1. 雑誌『労働科学』等における文献調査 (村田委員) 2. 「Air Sampling Instruments (ACGIH)」及び AIHCe2014 での測定機器 の状況について (田中委員) 3. 測定等に関する法と計測器、顕微鏡、保護具等を横並びにした一覧 表について (橋本委員、霜村委員) 4. JATI 協会より論文等を借りて電子ファイル化する件について (松原 副委員長) 5. 繊維状物質を生産している現場(企業)としての環境管理の変遷につ いて (松原副委員長) 6. 来年1月実施予定のセミナーの内容について (小西委員長) 7. その他				
報 告 事 項					
<p>1. 第1回技術講習会の開催結果</p> <p>小西委員長より第1回石綿除去作業実技講習会収支報告書について説明があ った。受講者は170名であり、今回の講習会は300万円ほど赤字になってしまっ たが、考えられる理由として、①募集期間が短かったため予想より参加者が少な く、②受講料の設定が低かったことなどが挙げられた。松原副委員長より『機材・ 消耗品の中で次回以降に使用できるものはないのか』という質問に対し、小西委 員長より、『ない』という回答があった。</p> <p>2. 第2回学術集会の開催結果</p> <p>小西委員長より第2回学術集会収支報告書について説明があり、第1回学術集 会と比較すると、会場費が安くできたことが報告された。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ)</p>					

議 事 内 容

1. 雑誌『労働科学』等における文献調査について（村田委員）

村田委員より追加資料が配布され、1952年から1959年の欧米の文献を労働科学研究所の三浦先生、木村先生等が抜き出したものであるという説明があった。小西委員長より、『労働科学』を(公社)日本作業環境測定協会で購入しているかを寺田委員に確認してもらうように提案があった。また、村田委員には可能な範囲で文献調査を継続してもらうこととなった。

2. 「Air Sampling Instruments (ACGIH)」及びAIHCe2014での測定機器の状況について（田中委員）

アメリカでのAIHCe2014に参加された田中委員より次のような報告があった。

(1) 「Air Sampling Instruments (ACGIH)」は9thが最新版である。

(2) ポスターセッションについては、アスベストに関するものは全体の1/10くらいであったが、ナノ粒子に関するものは比較的多かった。

海外情報の入手方法についてURLをまとめたものを事務局あてにメール送信してくれたが、事務局で受信できていなかったため、再度送信してもらい、事務局から各委員に配信することとなった。

また、「Air Sampling Instruments (ACGIH)」については、改訂版ができたなら協会で1冊保有し、会員の方に利用してもらうことになった。

3. 測定等に関する法と計測器、顕微鏡、保護具等を横並びにした一覧表について（橋本委員、霜村委員）

橋本委員より「アスベスト含有率の法規制と顕微鏡の変遷」について説明があった。岡田委員より『どのように見えているのかがわかるよう、実際の顕微鏡写真を加えてもらいたい』、小西委員長より『ロックウール、セラミックファイバー等も年表に加えていきたい』という要望が出され、継続して年表を作成してもらうこととなった。

霜村委員より計測器に関しては進捗ないという報告があり、顕微鏡と同様に年表にしていく作業を継続してもらうこととなった。

4. JATI協会より論文等を借りて電子ファイル化する件について（松原副委員長）

松原副委員長より、JATI協会から論文を借りられるように交渉した結果、承認が得られたという報告があった。

資料の文献一覧（文献1～文献3）から、計測に係わる文献を抜き出す作業を各委員で分担して行うこととなった。方法は、事務局から文献一覧の入ったUSBを各委員に送り、その中から計測に係わる文献を抜き出して平成27年2月までに返送してもらう。各文献の担当は下記の通りとなった。

(次ページへ)

文献 1 : 小西委員長、松原副委員長、庄司委員、霜村委員

文献 2 : 橋本委員、岡田委員、寺田委員

文献 3 : 村田委員、田中委員、小西(雅)委員

5. 繊維状物質を生産している現場(企業)としての環境管理の変遷について (松原副委員長)

松原副委員長より進捗なしという報告があり、継続してもらうこととなった。

6. 来年 1 月実施予定のセミナーの内容について (小西委員長)

小西委員長より各委員にお願いしていたセミナー内容について検討し、計測技術等調査研究委員会として下記の 2 題を案として教育・研修検討委員会に提出することとなった。

(1) 人造鉱物繊維の開発の歴史と最近の開発動向

(2) 人造鉱物繊維の製造現場での環境管理の現状

7. その他

(1) 分析機器・科学機器遺産について

霜村委員より追加資料が配布され、第 3 回分析機器・科学機器遺産について説明があった。分析機器・科学機器の歴史的に重要な機器を保存することを目的に実施されており、今年度は 16 件が認定され、柴田科学(株)のデジタル粉じん計 P-1 型も認定された旨の紹介があった。また、機関誌『繊維状物質研究』に記事を掲載することが小西委員長より提案され、編集委員会に提案することになった。

(2) 『漏えい管理の計測』に関する講習会について

小西委員長より次年度に『漏えい管理の計測』に関する講習会を全国規模(5~7か所)で開催したいという説明があり、了承され、教育・研修検討委員会に提案することになった。

(3) 次回委員会について

平成 27 年 3 月に開催することとするが、日時に関しては後日決定することとなった。

以上

資 料

- ・ 第 2 回計測技術等調査研究委員会議事録(案)
- ・ 第 1 回石綿除去作業実技講習会収支報告書
- ・ 第 2 回学術集会収支報告書

(次ページへ)

- **Air Sampling Instruments** の表紙および目次（寺田委員資料）
- アスベスト含有率の法規制と顕微鏡の変遷（橋本委員資料）
- 文献タイトル一覧 文献 1～3（松原副委員長資料）

追加資料

- 雑誌『労働科学』等における文献調査について（村田委員資料）
- 分析機器・科学機器遺産に認定された機器について（霜村委員資料）